

中筋小学校だより

校訓 ～ 強身体 正しい心 ～

舞鶴市立中筋小学校
学校だより 5月号
令和5年4月28日発行
<http://nakasuji.maizuru.edumap.jp/>
☎75-0372

思いを込める～自分を表現する～



最近、ニュースやテレビで毎日のように耳にする言葉があります。「chatGPT (チャットジーピーティー)」英語名は「Chat Generative Pre-trained Transformer」で、日本語に訳すと「生成可能な事前学習済み変換器」(Wikipedia より)というそうです。使い方を間違わなければ、とても便利で仕事の効率を上げたり、何か新しいアイデアが欲しいときに参考となる意見を提示してくれたりする画期的なアプリとされています。その導入に向けて検討を始めている自治体もあるそうです。教育界でも、そのふさわしくない使用法が危惧されて、物議を醸しています。

校長という立場から、いろいろな場面で挨拶をすることが多いのですが、試しに「ChatGPT」のお力を借りて原稿を考えてみたことがあります。こちらの要求を打ち込むものの数秒で、文章がつつらと現れてきます。でき上がったものを読んでみると、それはそれは素晴らしい挨拶文が完成していました。しかし、一通り読んで感じた印象は、無味乾燥というか文章にその人の“思い”が全く感じられませんでした。もちろん「AI」がインターネット上に挙がっている膨大な情報から、使用者が必要とするものをかき集めて文章化しただけのもので、それは当然のことであるのですが…。

今年度、中筋っ子たちに身に付けさせたい力は、「**自信をもって、自分の考えや思いを堂々と伝える力**」です。本校の子どもたちの課題の一つは、自分発信力の弱さです。自分で調べたいと課題を設定する力やその課題解決のためにどうすればよいか考え追究活動をする力、調べたことをタブレットなどを使って上手にまとめる力は、だんだんと身に付いてきています。しかし、追究過程での気づきや感想、まとめたことからの考察や意見を、自分の言葉で“語る”ことがなかなかできません。簡単な言葉でまとめたり、弱々しい声での発表になったりして、その力不足を感じざるを得ないことが度々ありました。自分の考えを堂々と自分の言葉で語る力は、これからの時代を生きていく中で、とても重要な力だと考えます。これから、授業中の発言はもちろん、日直としての司会、高学年は委員会活動や虹グループ(異年齢活動)での司会や発表など、教育活動全般を通して、“堂々と語る児童”の育成に努めていきたいと考えています。

「ChatGPT」のようなコンピュータソフトが出てくる時代です。ありきたりな誰がしゃべっても遜色のない挨拶や感想文は、AIにまかせることが普通になるかもしれません。しかし、そんな時代だからこそ、お互いを理解するために、その人となりを「その人が使う言葉」や「話す内容」からイメージし、その人への思いを込めたコミュニケーションを図ることが大事だと思います。そこには相手を敬い、尊重する気持ちが根底にあることが前提です。子どもたちがそういったコミュニケーション能力を獲得する場所は『学校』です。さらに言えば子どもが属する『学級』です。学校では、よりよいコミュニケーション能力を身に付け、高めるために『学級経営』にも力を入れていきます。だれにも居場所があり、だれにとっても居心地のよい学級づくりを、担任だけではなく学校として取り組んでいきます。

温かい雰囲気のある学校の中で、血の通ったコミュニケーションをするための合言葉

Chant JDT = ちゃんと 自信をもって 堂々と 伝えよう



さわやかな若葉が輝く5月が始まります。明日からはゴールデンウィークです。事故やけがに注意して楽しい連休になることを願っています。また、4月に身に付けた学校生活のリズムが、長い休みの間に崩れないように、ご家庭でも規則正しい生活を心がけていただきますようお願いいたします。

5月も、さわやかな子どもたちの元気な声が飛び交う学校にしていまいますので、保護者・地域の皆様の変わらぬご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

校長 亀井 敬介
教職員 一同